

## 「組織的な大学院教育改革推進プログラム委員会（第2回）」議事概要

1. 日 時 平成24年2月23日（木） 10:30～12:00
2. 場 所 弘済会館 4階会議室（萩の間）
3. 出席者 （委 員）石委員長、黒田副委員長、有信委員、一井委員、伊藤委員、荻上委員、笠原委員、金子委員、北村委員、塩澤委員、舘委員、長野委員、林委員、東島委員、菱沼委員、福田委員、前原委員、湯本委員  
（文部科学省）池田大学振興課長、樋口大学改革推進室長  
（事務局）安西理事長、戸渡理事、黒澤専門調査役

### 4. 議事概要

- ・議事に先立ち、審査・評価の実施主体である独立行政法人日本学術振興会の安西理事長及び事業の実施主体である文部科学省の池田大学振興課長より挨拶があった。

#### （1）事後評価について

- ・委員会委員名簿 [資料1]
  - ・事後評価実施対象プログラムについて [資料2]
  - ・平成21年度採択教育プログラム事後評価スケジュール（案） [資料3]
  - ・事後評価要項（案） [資料4]
  - ・事後評価現地調査実施要領（案） [資料5]
  - ・平成21年度採択教育プログラム事業結果報告書様式（案） [資料6-1]
  - ・平成21年度採択教育プログラム事業結果報告書等作成・記入要領（案） [資料6-2]
- について事務局から説明があり、一部修正することで了承された。

#### （2）その他

- ①分野別事後評価部会長及び副部会長について、委員長より指名があり、了承された。また、分属委員及び分野別事後評価部会委員について事務局から説明があり、了承された。
- ②アンケートの実施及び事例集の作成について、事務局から説明があり、了承された。
- ③文部科学省の池田大学振興課長より、平成24年度文部科学省高等教育局関係予算案について説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- プログラムの成果を、大学内や他大学にどのように波及させるかが重要である。
- 特にGPに多く採択されている大学は、学内でのGPの波及状況や部局間の連携について検証する必要があるのではないか。
- 各プログラムの評価だけでなく、それぞれの大学の特色と合わせて考える必要がある。
- 平成24年度が本プログラムの最後の事後評価となることから、集大成としてのシンポジウムやフォーラム等の開催を検討していただきたい。プログラムの評価はもちろんのこと、各大学の持つ特徴を示す機会にもなると思われる。